

氏名 XXXXXXXXXX

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

SDGsに際し、概念、基本的事項についてほとんど学んでいた
 ので、学ぶ ~~要~~ 意義は、しっかり与えてより感謝したいですね。
 座学も、1時間以上の講義で済ませればよいようにして
 ほしい。申し訳さずおっしゃいました。

② 地元漁師による講話について

現実の実際の体 ~~験~~ 験に基づいた話しは、互いにお互い
 心に響きました。

20日を分けてお話しは印象に残りました。

つばきとりの大塚漁師さん、お話し

面白いしらすと電気。ありがとうございました。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

大型カヌーでの800mの航海は、おもしろい
 変化がたいてい貴重を体験しました。

磯観察は、童心に帰る岩入り区は、おもしろい
 ため、楽しい時間を味わいました。

④ キャンプ全般について

おもしろい、日程やプログラムを組んでいて
 伸び伸び楽しめました。

食事、大変おいしかったです。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案に

※ もう少し深い海中を散歩できたら、等しい土加
倍増し、思わぬ発見、興味の湧きかあるのについて
※ 2泊3日（不学生）の皆で、長期にわたる、滞在し
活動地での見聞、モーターボートで下れない
で、楽し活動できるため、舟が送る、おかし
物心両面について 思いは深まり、
御踏踏を！

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

★ 現在、PWNにて通った小学校で、子供たち
自由に遊べる中で、後進型社会のSDGsの
17でも、17の中で、より具体的に一緒に活動して——と
★ ボランティア組織、山の自然活動の中で、くいを作成し、
登山道の整備を行って、17の17を享受する人の
健康の増進、安全確保の他にも目標が17を認定
していきなり、
★ 子供の在り小学校の範囲の中で、より具体的に
~~と~~ 食品ロス削減、環境不存削減を
取り組むこと、記録。おこなう。

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

（ 北九州キャンプ協会からの郵便物
に添えていたリフレット ）

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

ESDの存在、カリキュラムの整理、人材教育、
共創、つながり。

② 地元漁師による講話について

漁師目線のSDGsの取り組み、
果敢に遊ぶ、海は広い。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

協力してジレンボカメラ、バッチ、千ヶ谷から誰かのとまひ、
野の島の背景、漂着物の種類、海水のCO₂吸収率。

④ キャンプ全般について

合意形成、コミュニケーション、YMCAの思い、
学校の泊行事のあり方、

汚い。

清掃活動と聞いての
連絡ととります?
お調べです。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案につ

淀川、寝屋川、第二寝屋川の清掃?
泊行事前の事前事後指導。
理科の授業内での、海水の吸収率、実験。
~~学年での~~
次の1年からはSDGsの取り組みカリキュラムの作成。
自ら考えさせる人材の育成。

自分では考えさせず、
調べさせず。

大切だから。

体験させず。

見学、授業。

↓
体験?

地域の前のゴミは...

視野を広げさせる。

より具体的に。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

泊行事の場所の検討 → 3ヶ年でカリキュラムの作成、修学旅行までのアウプ?

ただ行かせるだけでなく、なぜなのか。

教員の中での仲間作り → 合意形成、理論武装

↓ 貝塚自然の家、山から川へ海につなげる。

教科横断でできると

→ 泊移程SDGs → 修学旅行にも?

理家指導、ミニコン、
やらせようとして海行く。

民泊、如く経験者 → 合意形成地区、
体験、なせ保存?

知覚動考。

YMCAに頼む。

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

知人から。

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCAからの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

70-100の活用

計画
↑ スケジュール
→ 実行

氏名 山下 桃歌

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

今日のお話で、学校ではESDの推進の考えを伝えようとして、
ESDという言葉を初めて聞いた。
ESDを学ぶ上で絶対に押さえておきたい。学校という事で、
自身に何がいかに思いました。

② 地元漁師による講話について

漁師さんで聞く、その中にSDGsに関係しているものがある。たが、
地産地消 / 持続可能な食料、とりまは、時間を決めて作るの
自分たち長く取れた、魚たすは、長く生きると、自然の利益
がけで、生態系にも考えられ、そのおもしろい。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

でも、1日中、あんな無人島まるごとだ、たが、... !!
磯観察が想像以上で楽しい。そこで、自然生物が面白い。
ウナギが、痛んだ、おもしろい感じ。
実際に体験したのが、おもしろい。楽しかった。
10:30-11:30に来た子供達、雨が降、そこで、おもしろい。
おもしろい。遊び、おもしろい。

④ キャンプ全般について

このプログラムの全体が、気楽な感じ。興味があるという、おもしろい
おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案について

自身の身の周りの目標として、後々は「自然学校」をフックに...と考える
ように。海・森のフィールドにゆき、海を渡り、フィールドで
体験できる事がある。YMCA様で行ったSDGsワークショップ
でも、おかげで、子ども達に自ら考えさせ、行動するようになる。
子ども達自身が責任感を持つことができる。これは良い体験に
なると思う。 ~~活動の~~

観光とSDGsに力を入れて学ぶ機会が多い。もう一つは、海や山を
いかに活用し、おなご町を盛り上げ、ここに宿泊し体験するだけでなく
フィールドの中に「海洋教育」を組み込むことで、この施設を知ら
なければならぬ。徳島、おなご地方に訪れた観光客にも少しでも知っていただく機会に
なるといい。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて「海洋教育」に力を入れること。

大学では、4年前からSDGsに力を入れて学ぶ機会が多くなり、
学ぶだけでなく、今日のよう自分自身で体験して学ぶという事はなかなか
無い。だから、貴校が体験するということに自分自身で力をつける
という事に感じました。

今、大学4年という事もあり、就職先として「地域おこし協力隊」
を通い、自然学習と体験の場を学ぶための場所を作りたいと考えています。
今回のワークショップで、おなごの事を学びました。その目標に対する
軸が ~~以前より~~ 以前より明確になりました。

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

日本青年会議所のウェブサイト

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 (自然教育, アウトドア ~~等~~ 関連)

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

推進されるべき、かけとなった背景を知り、全ての人が平等に
取り残されず"に"という目標を達成するには程遠いと
思ってしまったが、子どもたちには学校教育の中で伝えられることは
たくさんあり、今それが求められていることだと理解できました。
ESDを学ぶ"に"か、"に"か"に"がかなり差がでるようには感じた。

② 地元漁師による講話について

漁師さんの熱いお話しが聞け、また自分自身が考えている
がうまく子どもたちに伝えられていないことを具体例を挙げ
話し下さったのでとても興味深く学びの時間となりました。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

自然には敵わないということ、その中で何ができるか。
安全は第一、これを鉄則として、参加者を楽しませることが
リーダーには必要だと学びました。海の状況や園の状況に
合わせて活動することが重要、海の危険については甘く見ていた
部分があったので、手袋やスリッパの着用を子どもたちに伝えました。

④ キャンプ全般について

キャンプというとも、SDGsと絡めると本当にいろいろなテーマや
目標を立られるということが分かった、他人からというよりは過ごすことが
分かる気持もたくさんあり。
こと

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案について

- 自分たちの住んでいるエリアも海の近く。海本とびや釣りにも触れよう機会をつくろう。
- 「SDGs」は様々なテーマから成っているが、1つでも良い。子どもたちのやりたいことを、自分たちが考えて自分でやってみよう。
→ 1つでもいいので機会を多くつくる。
- ねんご・触れ「楽しい！」から学びを深める。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

- SDGsについて子どもたちに知っているか、どう思っているか問う。
- キャンプに一部、SDGs関連の目標や取り組みを導入し、経験してもらい、理解へとつなげる。
↓
- その後、子どもたちにやりたいテーマを聞いて実践を支援する。

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

(キャンプインストラクターの冊子に入っていたチラシ)

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

小学生は特に「遊び」の要素が必要で、子どもたちの気づきをいかにサポートできるかが、大人の役目なのかな、と思った。
SDGs、ESDは環境教育がメインだと思っていたが、「つながり、アクションを起こす」教育ということを知り、イメージが変わった。

② 地元漁師による講話について

日々の中では壁にぶつかると、そこから成功体験に持っていくことのくりかえしだが、あくまでそれは守られている学校内のことであり、「先生もいるから」という安心感が大きい。目の前に広がる海の中での問題意識も持って、自身が感じる問題点に一人ひとりに向き合ってもらいたい。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

力の差はあるにしても、海に出れば大人も子どもも同じように遊んで、工夫ができる、と思った。

カヌーをこぐときも、磯観察するときも時間を忘れて夢中になることができ、ぜひ家族参加型のプログラムを展開したいと思った。

④ キャンプ全般について

交流の時間には、色々な話が聞けるところも勉強になった。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案について

広島の小学校でできるプログラムとして、身近なものば、
宮島、カキ、鹿がある。社会科見学でカキ養殖について
学ぶ時間があるので、つなげて海での学習ができればいいな、
と思った。具体的に、カキ養殖について学ぶ→海で遊ぶ
→実験をする→自分たちでできることを考える→もう一度海へ
行く、ができるといい。どうしても↓ここで終わるこが多い。
感じる子どもたちだから任せろ←教師が作りすぎない。
プログラムの作りか。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

小学校では、川で干潟観察(理科・図工・国語)^{3年}
山で沢のぼり(体育・社会)^{4年} 森で宿泊・冒険系(総合)^{5年}
校内で土にゴミを埋める(生活)^{2年}等の活動を行っているが、
点としてやっているだけで、つながっていないし、決まった
プログラムを行っている。今までやってきた授業は、SDGsに
絡めていけるものが多いと思うので、新しい大きなプロジェクト
を始めようとするのではなく、あるものを活かして、ストーリーを作りたい。

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

講習会に参加した時。

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

海洋教育

気候変動

SDGs

その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

希望する

希望しない

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

・事例にあたり組織が大変参考になりました。

② 地元漁師による講話について

・生い様に感激しました。

・持ち帰った生魚のフィードバック。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

・体験活動を通じて、本来の目的だけでなく、
（人々果敢と付き、持ち帰った）を体験し、
ICTが教育に及ぼす負の部分も補えた。

④ キャンプ全般について

大変世話になり、ありがとうございました。
今後、引き続きよろしくお願いします。

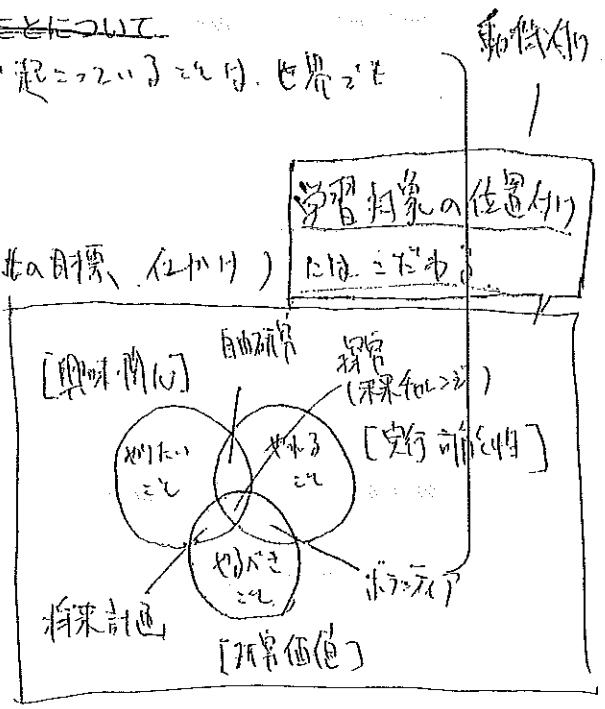
2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案

総合的な探究の時間(週1時間)で
 網干の漁業(地域)とSDGsの観点で地域探究を行う。
 何が問題なのか? それの背景に問題なのか? (リサーチ)をのびる。
 問題(課題) → 調べ(他地域の比較等) → 仮説(仮説設定)
 → 検証 → 発表 (他地域と実際に活動も)
 ・協業者(校外)
 漁業組合、姫路市役所、探究センター、網干公民館、
 兵庫県立大学、心社、食品加工業者、エコパーク

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

生徒の身近な(半径3km)所からスタート。網干で起きていること、世界で起きていること(広がり)、また、狭い。
 ・規正作成中
 ・網干高校の探究3年計画書(目的、年次別の目標、仕切り)
 ・職員ワークフロー
 ・作成済みの
 ・網干高校の探究ポフレット(1600枚)
 ・探究推進委員会などの組織
 (9月に指導訪問あり)



3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

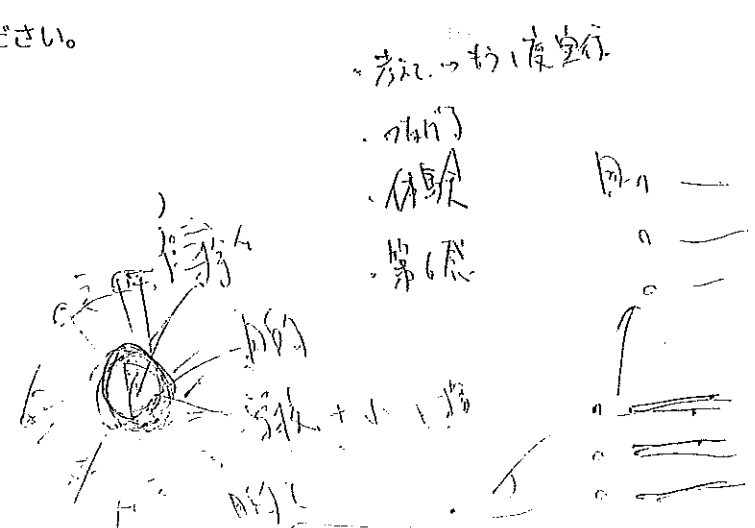
濱上さん

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 (

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない



氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

世界的なゴールであるSDGsを自分たちだけの力で達成しようとすることは不可能で、同じを巻き込むことが大事だと思いました。未来の地球を生きていくのは今の子どもたちであるので、その子どもたちにいかにSDGsを落とし込むかが、私たち教育者に求められることだとわかりました。

② 地元漁師による講話について

「やってみよう」を第一に考えて、プログラムを考えていこうと思いました。ワクワク感を感じなければ、体験をしても身につくものはない、継続しないということにとっても共感しました。人材の持続可能な社会という考えは、正直考えもじつじつだったので、驚きました。人も大切な資源ということに気付くことができました。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

チームわけから自分たちで考え、どうすればうまく進むかなど常にチームで考えながら活動していました。合意形成で物事を進めると自分たちで決めたことという責任感が湧きました。磯観察は、様々な生き物がいて、おもしろかった。名前を覚えるといいと思います。

④ キャンプ全般について

様々なバックグラウンドがある方々と交流することができ、教育について新たな考え、視点をとることができることができてきました。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案について

※ 漂着ゴミから何かを作る。

※ 石碓観察からの生態系について
河川からのフナヤツを知り

※ キャンプと学校教育を繋げる。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

・ 徳島で獲れる魚から、海の流れ(世界)を知り。

・ 漂着ゴミの再利用(子どもたちにも作れる簡単な日常のもの)

・ キャンププログラムの事前学習(例えば「火の特性」「木の特性」)をしてから、キャンプで実践する

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

職場

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

海洋教育

気候変動

SDGs

その他()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

希望する

希望しない

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

・生態系の脅威 → 海の生物多様化、海苔の産出
 ・石灰化生物
 ・この重要な問題が、簡単に実験を通じて「身で覚える」と実感することができました。

② 地元漁師による講話について

「海の資源」は何を講話で学びました。
 (→とこ)

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

・複数人数で泳ぐカヌーが大活躍のこと。(コミュニケーション)
 ・無人島で泳ぐための備品(50は?)をチームで考えたりする工夫。
 ・海が多くのCO₂を「吸収」してくれていること。

④ キャンプ全般について

・参加者の考えやアイデアを軸におく → 今回のプログラムにおける指導(若)する立場の者が判断したための学びとして授けらる。
 ・自分たちで決めて実践する
 ・決めたことは責任を持つ
 ① 事前の目的を持つプログラムや自然の中での活動が持つ効果。
 キャンプ → 自然体験が(必修)である。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案について

海洋教育の問題 → 「アジアやオセアニアなどの地域から大量のプラスチックゴミが漂着している」という問題。
 (資料) 陸地からの影響 人間が暮らすための生活に必要。 800以上のプラスチックゴミ。
 海のそばでは、河川等の清掃活動に参加する方が増えている。人がいなくなる意識を伝えるため、
 大きな声で人と繋がることにはないか。
 「体験」を「遊び」に変えるプログラム (体験型プログラム) → (Pp=70)
 ・ 船舶のゴミ回収
 ・ 体験型サイクル
 ・ 自己肯定感 (自然の中で活動の重要性)

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

海洋教育で ① 海洋温暖化 ② 海洋の自浄能力 ③ 海洋の国際貢献 ④ プラスチックゴミ ⑤ 海洋資源の減少
 陸地だけでなく地球の隅にまで。(日本は四方の海に囲まれている)
 ・ 海と海洋中の生命が地球の特徴を形作っている。
 ・ 海と人は互いに密接に繋がっている。
 ・ 海のほとんどの音は聞こえない。聞こえない。世界の
 海洋に関する情報は、子どもたちと共に、
 海洋について学ぶ(事前学習) → 実践 → 振り返り。海洋建設(河川・港湾の開発)を学ぶ
 SDGsを地域の小・中学校との交流で「地域」で「豊かさを築く」という人と人とを繋ぐ。
 (企業も必要)
 → 体験を通じた理解を深め、学校教育の現場では、企業等への人材研修への落とし込みを図る。
 海洋スポーツ、無人島生活、海洋生物観察、海洋環境調査実験、防災学習、海洋体験、ソーシャルワーク等。
 全て自分の事として考えれば、「SDGs」を実践化する人の役割は大きい！
 五感 → 知(記憶)の力 点を集めていく。

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

日本キヤンパの会

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

氏名 XXXXXXXXXX

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

国と海外の両方がSDGやESDに力を入れていることは知っているが、海外の取り組みがどのようなものか、もう一方の自然環境についても見直しが必要なのかもしれない。日本の教育の問題点や課題について理解を深めることができた。

② 地元漁師による講話について

網漁捕獲の中心量や時間帯といった計算も取り外しては思わなかった。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

現地で実際の状況を見ることができ、様々な問題を考えることができた。自然の大切さや環境の大切さ、課題もまだまだあるのかなと実感した。

④ キャンプ全般について

大雨等、大変な状況だったが、自然と満喫することが出来、貴重な経験ができた。今回の自然体験活動を通して、自然の大切さや環境の大切さを改めて感じた。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案に

大船泊と全国基地の湾・海を標榜する海洋ゴミの現状について調査
ねさ... 目的
・自治体の自然環境課や観光課の担当者に、問題の現状を報告し、SDGs
認識と対策の立案や取り組みの進捗について定期的に目標した... 等... 参考
・自治体の環境課や観光課の担当者に、問題の現状を報告し、SDGsの観点から調査を行う。
標榜のゴミが、なぜおこるのか、他者(地域の漁業関係者や港湾関係者)からの影響
物、予測見込み、ゴミを減らすために必要な取り組みや対策を、報告し、目標した
ことが、一年後、三年後... 中長期的目標を考えた。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

海洋スポーツの講習を通し、マリンスポーツ活動を行い、実際の海を知る機会を創出したこと
考えている中で自然問題、海洋ゴミについて考えた時間を持つ。ゴミが発生する仕組み、処理方法、
資源の活用などを通じて、環境問題について考えていこうと考えています。
・ゴミ処理の現状、ゴミの分別の方法、海洋ゴミについて
・海洋ゴミの問題について、地球環境について
S7のテーマを挙げて、提言、仮説、予測、課題を考えたようにしたい。
生きていくため、生活するために必要なスキルを身に付け、人のコミュニケーション、
自己満足感、探求心、問題解決力を養ってみたい。

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

YMCA内部からの案内

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

- SDGsのマップから、ESD推進の重要性に接し、目からウロコでした。
- ESD推進において、青少年研修の中心と云えるYMCAの益々の活動領域と社会に与える広報事業拡大の必要性を再認識致しました。

② 地元漁師による講話について

- 小川氏の漁場での実体験談を感動をもち聞きました。
- 何より、持続可能な漁場維持の為、何が必要かを分析し、SDGsと結びつけて実践されておられ、今後は小川氏の考えと哲学を広く世界へ広めて頂きたいと思っております。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

- 2日目の野々島訪問でした。
- 海洋環境と人間生活の関わりについて考えさせられました。
- 次は、具体的なActivityをもち何か開催したいと思っております。

④ キャンプ全般について

- 今般の参加者の大半が教育者が多く、ESDとSDGsについて真剣に取り組んでおられ、少なからず影響を受けました。
- 世界がSDGsに向かっており、将来を担う青少年の未来が、一層このSDGsの行末にかかっていると思っております。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育と SDGs」 への具体的な落とし込みアイデア・案は

地球の生産される 6割以上の酸素が 海に排出される一方、(2017) 70億人の海洋生物の量は、この海洋生物の数量と同等に存在 驚くべき速度で減少、
 陸上での温暖化防止のカーボンゼロ社会に目指すからとて、海洋の地球における比重が いかんか、大急ぎで、海洋研究を遂行、
 特に 青少年に伝えるべきと考えます。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

例えば、文相題を 通り、
 ① 小、中、高校生の海洋教育 (SDGs + ESD)
 一、私立校の SDGs (EESD) 教育を義務化 にもする。(YMCA の利用)
 ② 企業、各種団体の海洋教育、研修の一般化
 ③ 各種 NPO 団体の海洋教育の一般化、
 等具体化の是非かと考えています。

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

大阪 YMCA

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

氏名



1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

ESDに力を入れる学校を知ることができました。
 ①については、学校教育の中だけでなく、社会教育や地域の
 取り組みの中にも実践しているところを知ることができ、自分
 自身の実際の成人や子どもにもESDと一緒に取り組む活動の中で、取り組
 むべきことと気づきました。

② 地元漁師による講話について

自然の中での釣りやとりの漁師さんたちの話を
 通じて何となく気づきました。これも体験でした。...
 あり難い経験をしてきました。「自然の中での体験は、自然の中
 でのことを教えること」ということばかり。漁師さんや、自然の中で
 生きていくこと、自分の考え、自分の国産品を、自然の中
 での、まずいやり方を、次の世代に伝えることも、自然の中
 でのこと、と気づきました。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

・まず、最初に各找回遊の仮設に、内山さん、漁の生物の話を
 お話と聞いたのがきっかけ。
 ・自分のフィールド（生活の場、仕事の場）を大切に守る、これこそ
 が、環境破壊を止めることだと気づき、YMCの活動の中
 野島を自分のフィールドと捉えたいと、素直に思いました。
 無人島デイトリップも磯観察も自分のフィールドと捉えたいと、素直に思いました。

④ キャンプ全般について

この時期の早期せめぎ合いを経て、時間と労力を準備した。
 この時期に開催されたことの意味を、感謝します。
 時期が良かったこと、私はこのキャンプに参加できて、
 希少な一歩を踏み出したこと、実際のところ、この取り組み「SDGs
 への取り組み」の報告を、今後のこととして、
 これもまた、夏休みの一歩を踏み出したこと、
 フォロアップを踏まえて、未来に繋げる、希望と、達成感、この取り組みの

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案につ

自然に出発点 → 感謝 → 環境破壊に気づく → 自分の行動、生活に
変化を → SDGsに ついて 考え、 「持続可能とはどういうことか？」
近海に出、星空を見、楽しい体験をし、自然の恵みは豊かさを
体験した後に、ゴミ、漂着物、油などの汚れた海を見て
現実を知りそこから考える。気候変動や資源について学びたい。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

- ・ 林業、農業、漁業の循環について考え、家庭生活と通じる
- ・ フードロスから生活の質を向上させる
- ・ 資源の循環について考える
- ・ SDGsを取り入れたイベントの開催
- ・ 9-タール 1170 の達成に向けて - NPO, SDGs
- ・ ネットワークを作る

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGsリーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

大阪キョロ協会

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

海洋教育

気候変動

SDGs

その他 (リーダー育成)

③ YMCAからの情報提供をご希望されますか

希望する

希望しない

氏名 XXXXXXXXXX

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

授業材料も小習りとして活用もできる
清い水、自然を取り入れたプログラムも
活用したところ

② 地元漁師による講話について

魚の産卵の仕組みや、漁師の苦労が
聞けて、勉強になりました

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

無人島での自然観察や、磯観察で
生き物の観察

④ キャンプ全般について

おなかでのプログラムも勉強
キャンプ全体の雰囲気

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案について

研修(船中乗組員・乗客、乗客船内)
乗客発生者への教育・研修
研修・セミナー
と題品関係者の研修(近の研修等)

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

・セミナー
・海外研修・研修
・研修者の研修
・見直し
・セミナー・研修の活用(研修)

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

北の海軍学校 在野の研修等

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

17項目ある中でESD教育に力を入れている、未来の子育てでこれほど大事だというお話を聞いて、おごりに響きました。
小・中・高の学生の内、探求する力と関心を持ってほしい。
どの教科も行う機会があるからいいので、探求が大事だと
私自身も貢献できたらなりたいと思います。

② 地元漁師による講話について

初めの17分? じゃあ一気に魚と人の関係が中心に続いている。
これは、生物、環境、社会、共生していく為におごり大切で、共生していくこと。
これからの地球をどうやってつづけていくかと思いはした。
また、楽しいねって言うのは本当にこの通りだ!! と思いはした。
楽しいねって言う。楽しい!! にあんなに感動が伝わってきた。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

水と土が一緒。何かが壊れると環境も壊れる。保つことが必要で、
何をどうも考え、必要なものを、何に使うかを考えることができた。
試すの結果がどうなるか楽しみです!! と思います。

④ キャンプ全般について

3日間(キャンプ)のこと、ESDの話、漁師のお話を聞いて
自分自身もESD、SDGs等、これほど大事だと気づき、学ぶことができた。
魚釣りの命の大切さ、色んな経験ができたこと。

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案

生きる力を育む → 海・無人島に行くことより体験・実践・実習を重視する
現場・体験・実習の重要性を考慮して取り組む → 自分で行って体験する
自然に体験すること → 非常・非常時 → 自分で行って体験すること
試行錯誤すること → 日常の大切さ、何でこれか
あつたかを知る
ワクワク感がある。楽しく感じる
まじりこめ、体験として自分で行うこと、自分で考えようという意識を
系集果としてあげられる → どの分野か、何れか決めてみる。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

実践型を重視すること、体験型を重視すること、自分で、海に行く、色んな活動等を行うこと。
毎週実施している。大変なことがある → 体を休めるためのために、
その間に必要に応じて休む時間があること、継続した活動が
必要
↑
子ども連立に体験を通してその活動の開催。(毎月〜複数回)
シニア
また体験だけでなく、交流も行う。考えたことを実現する
師事にも関わっている

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

関西SDGsプラットフォーム

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

声がかく聞こえませんでした。
 建物自体、音を吸収する構造になっており、(特に天井)、音を吸収
 してくれませんでした。
 排気扇の音も、活動している間は、よくわかりませんでした。
 持続可能な場所か、スナックも切れていませんでした。
 なんとか改善してください。

② 地元漁師による講話について

5匹以上の釣り、15匹以上追加すると、結果的に増えるというお話は
 興味深かったですが、~~実際は~~ 実際は、その15匹追加する
 というのが難しいので、第一次産業従事者の数は困り
 ますよねという話です。

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

Xmasイベント、楽しかったです。
 嵐の中、中止せざるを得ない状況もありましたが、楽しかったです。
 大まかですが、チームの団結力が大切だと
 感じられました。

④ キャンプ全般について

雨、雨、雨。
 このほど大雨の被害はありました。
 雨の多い状況、自然の偉大さ、そして、確実にやばい、所々の
 環境破壊の状況も感じられました。

14日は、私のbirthdayです。
 素敵な一年にしたいです。宿舎がキレイです。不思議

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案について

○ 実際は、自費で船を借り、サマウラが船を動かす。
子供、楽しい船のアクティビティ（ジェットスキーやバナボート）を
しむべきの場だと思ふ。子供は。
○ 船のしりぞき海を見たいと正直思ふ。子供は。
雨のせいでもういっしょに遊べない。
○ サマウラがジェットスキー（特設小型）、その他を借り、
学べるコースがあととあると思ふ。

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

船の免許をとりたがると思ふ。子供は。
そのためには船は知り、作らなければならないと
感じました。
船のアクティビティを。
子供、サマウラが、もっと交流する時間があるから（
（サマウラが））

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

職場のメール SDGs フォットブック

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

海洋教育

気候変動

SDGs

その他（サマウラが、最低限の道具が）

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

希望する

希望しない

20人中、雨の中、開催してくれり。

ありがとうございます。

氏名

1. 気づきや学び、感想・所感をご記入ください。

① 教育講演会「学校教育におけるESDの推進とその展開事例やロケーション活用方法」について

今回改訂された新学習指導要領に「持続可能な社会の創り手の育成のためにESDの推進が明記されている。しかしながら、我々多くの学校・教員らは以前の層からぬり出せぬ。その状況の中にはあるが、本当に、今"すぐ"でも子どもを信じて「お任せ」ことが大切だと感じた。学校教育はSDGsの輪の中心にあるということで、教育の重要性を再認識した。

痛

② 地元漁師による講話について

自然とつながりながら、それを業としていふ方の話には強い"力"がある。トライ&エラーをくり返しながら「持続可能な社会の創り手」として、取り組まれていることは素晴らしい。

「しらす」はたいへん美味でした。(ごちそうさまで体重UP?)

③ 無人島デイトリップ、磯観察について

無人島は短時間で海苔の漂着ゴミの現状を知ることができた。

磯観察では、ウニに刺さった貝殻が、いかに大切にいられたのか、助かりました。

④ キャンプ全般について

今回、思っていた以上に参加させてもらった。多くのことを学びました。また、新しい情報たくさん入手することができたので、今後に生かせる。ありがとうございました。

ごちそうさまで

2. みなさまの取り組み・考えをお聞かせください。

① 「海洋教育とSDGs」への具体的な落とし込みアイデア・案について

大阪の北東部にあり、なかなかに海との接点が少ない地域なのだから、SDGsに
取り組むと、「海の豊かさを守ろう」も産ぶ生徒が意外に多い。

その状況の中で、どうのぼりよかと思ひ今回参加させてもらったのが、やはり
弊校の現場に足を運ぶ。漂着ゴミの現状なども知りながら大層でいけるか
と感じた。そこからスタートし、様々な体験を通して、「考える」力(習慣)
をつけ、粘りやってみる。トライ＆エラーをくり返すことで「体験が経験と
なっていくのだから」と感じた。

「漂着ゴミをばら
す」
「イカダがくろ
し」

② 今後実際にやってみようと思うこと・実践したいと考えたことについて

- ・とにかく「海」に近づいていく(理想はココだから、大阪湾でも須磨でも) ← 生徒の行動範囲を広げていく。
- ・とにかく「海と生活が一体となる」(小川さん)から話を聞く...オンラインで。
- ・とにかく「アクション」をさせていく。そこから「突っ込み」地が生まれ、「第六感」が
おがかりしていく。(大学の先生、NPO さんとつながり、いこも体験させる。自己学習)
- ・「調べ学習」で終わらせない。知識動産...動産から考える習慣をのびる。
- ・追いついてない。じっくり時間をかけて、「考える」を育てていく

「食」と
つながり
「はらす」とか

3. アンケートにご回答をお願いします。

① SDGs リーダーズキャンプについて、どこから情報を入手されましたか。

「関西SDGsプラットフォーム」からの情報メールより

② 興味・関心のある項目にチェックを入れてください。

- 海洋教育
- 気候変動
- SDGs
- その他 ()

③ YMCA からの情報提供をご希望されますか

- 希望する
- 希望しない